

ふるさと創生事業個性あるまちづくり事業実績

年度	事業名	事業内容	区分
	申請団体名		
17	大型紙芝居「五人の庄屋」作製事業	平成13年から大型紙芝居「五人の庄屋」による子育て支援事業に取り組んでいる。紙芝居が古くなり、内容の一部修正もあるため作り替えを行うとともに、演出効果を高めるためのユニホームとライトを購入する。	ソフト
	白壁レディース21 代表 高橋和子		
17	きものの似合うまちづくり事業	平成12年からおひなさまめぐり時に、会員が着物を持ちより無料で着付けをしてきた。着物の購入により、より多くの方に着用してもらい、着物文化への関心を高めるとともに、観光面での相乗効果を図る。	ソフト
	きものの似合うまちづくりの会 代表 日野美代子		
17	山川末称先生 帰郷の歌 歌碑建立事業	吉井小学校前の新川沿い「水とふれあいの小道」に、山川末称先生の歌碑を建立する。故郷の著名人を身近に紹介することにより、郷土に対する愛着心を深めるとともに、文化の香るまちづくりを推進する。	ソフト
	うきは市文化連合会吉井短歌会 代表 豊田潤一		
17	流川桜並木夜間ライトアップ事業	ライトアップ箇所を下流側に約250m延長するもの。満開の桜のトンネルと黄色に染まった菜の花の織り成す景観をより多くの方に見てもらうことで、交流の場・憩いの場の提供や自然環境の保全をアピールする。	ソフト
	流川桜会 代表 綾部栄作		
18	江南ホタルの里づくり事業	雑草と倒木で荒れていた江南福祉会館南の池周辺の環境整備を行い、ホタルの里づくりを進めるもの。ホタルの成育を通して、子どもと大人のふれあい・地域とのふれあいを生み出し、江南地域の心の教育を推進する。	ソフト
	江南ホタルの会 代表 園田光春		
18	功労者中津留頼光伴三郎を偲ぶ集い	伴三郎の顕徳碑設置から百周年を記念して、平成17年に解説碑を設置した。今回、解説碑周辺の環境整備を実施するとともにパンフレットを作成して、地域住民に郷土を愛し郷土の発展に貢献しようとする意欲を喚起する。	ソフト
	中津留頼光伴三郎顕彰会 代表 淵上靖男		
18	袋野隧道探検事業	約350年ほど前に田代重栄氏が私財を投じて完成させた袋野隧道を、小学校4年生以上の親子に歩いてもらい、その偉業を後世に伝えるとともに、子どもたちの郷土に対する誇りと水を大切にする思いを育くむ。	ソフト
	袋野隧道たんけん実行委員会 代表 橋本芳之		
20	スペイン・うきは市文化交流事業	10月4日から15日まで、矢野家蔵ギャラリーと注連原美術館の2ヶ所で、ヴィセンテ・カルベ遺作展を開催した。また、うきは市の風景を織り交ぜたスペイン語のナレータDVDを作成して、インターネットで動画配信した。	ソフト
	ヴィセンテカルベ遺作展実行委員会 代表 尾花サト子		
20	筑後川温泉パークゴルフ場整備事業	筑後川大石分水路内に18ホールのパークゴルフ場を整備して、市民のパークゴルフの普及を広めた。 11月9日に完成記念大会を開催した。	ハード
	西高見の会 代表 佐藤智秋		
20	ボランティアの家拠点整備事業	老朽化して活動に支障をきたしていた研修施設「ボランティアの家」の改修工事を行い、ボランティアグループの活動拠点として、また、地元の伝統文化「神楽」の定期練習や実践発表の場として復興した。	ハード
	田籠地区神楽保存会・うきはレオクラブOB会 代表 宮川哲郎		
21	延寿寺のはぜ祭り・夜間ライトアップ事業	延寿寺曾根の櫓並木を広く市民及び都市住民にPRするため、11月22日から12月13日まではぜ祭りを開催した。期間中は竹灯籠を設置するとともに、電気工事を実施して夜間のライトアップを行った。	ソフト&ハード
	延寿寺曾根櫓並木保存会 代表 長尾義視		
21	風光明媚な、うきは路を楽しく歩こうかい	旧生葉郡三十三観音めぐりの確認作業を進め、昨年度自費で散策マップを作成した。在庫が少なくなっているので増刷するとともに、のぼり旗の設置やスタンプラリーを取り入れて事業の推進を図った。	ソフト
	うきは市スローライフ同好会 代表 伊藤貞子		
22	浮羽みざれ太鼓保存会30周年記念事業 「太鼓フェスティバルINうきは祭り」	近隣和太鼓チームおよびプロチーム（壱打）を招聘し和太鼓の競演会を開催する。30年経過により衣装老朽化が目立つことから衣装を新たに作成する。少年グループを多く招聘することで、うきは市の子供たちへの刺激になればと考える。また、多くの見学者が訪れることとなり、祭りの集客増が見込める。	ソフト
	浮羽みざれ太鼓保存会 代表 高橋 浩		
23	浮羽ヤングラガーズ活動拠点整備事業	筑後川放水路内に公式の試合ができるラクビーグラウンドを整備することにより、ラクビーの振興と青少年の体力、健全育成を図る。また、公式の試合ができることにより合宿地としても利用でき、隣接する筑後川温泉の利用者増を図る	ハード
	NPO法人 浮羽ヤングラガーズ 代表 姫野大助		
24	笑福亭風喬後援会設立5周年記念公演事業	笑福亭風喬後援会設立5周年を記念して、公演会を実施するとともに、公演会運営スタッフの着用するハッピーを制作し、後援会組織の一体化をはかり、うきは市のふるさと大使である笑福亭風喬の活動支援の活性化、ひいては市のPR活動を推進する	ソフト
	笑福亭風喬後援会「うきは風喬会」 代表 安元 紀雄		
24	楽曲作成と衣裳用Tシャツの制作事業	新たなオリジナルの楽曲及び衣裳用Tシャツを製作し、会員の活動をより充実することにより、「うきはYOSAKOI祭り」の活性化、ひいては市のPR活動を推進する	ソフト
	よしいウィング～心華～ 代表 田口 久美		
24	いま「うきは」を考えるシンポジウム	うきは市の復興の課題を前に、制作から10年を迎えるNHK福岡発地域ドラマ「うきは－少年たちの夏－」を素材に、これからの「うきは」の活性化を考えるシンポジウムを実施。 特に若者を中心とした制作関係者、市内外住民が集い、豪雨災害からの復興や地域活性化について考える場を提供することで、今後の持続的な地域資源を活かした活性化に結びつける	ソフト
	いま「うきは」を考えるシンポジウム実行委員会		

ふるさと創生事業個性あるまちづくり事業実績

年度	事業名	事業内容	区分
	申請団体名		
25	第50回うきは麺祭り	うきは麺祭り」が今年50周年を迎えるにあたっての記念事業であり、その内容は、うきは麺の歴史についてのパンフレットの作成、うきは市内5社、田主丸町1社のそうめんをセットにした「七福神」の制作と懸賞の実施、及び老朽化したバーナーの修繕	ソフト
	うきは麺研クラブ		
25	古一の瀬焼の展示会及び一の瀬地区観光情報等案内板設置事業	江戸時代からの古一ノ瀬焼きの展示会の開催、一ノ瀬リーフレットの地図部分の改正と増刷に係る印刷費、観光案内板の移設と地図の張替及び標識の新設	ソフト&ハード
	一ノ瀬活性化協議会		
25	地域イベント支援事業	音響機器を購入し、操作に関する研修を会員が受けることで、専門的な技術を身につけ、地域における各種イベント・祭事開催時の音響・照明機器の操作をおこなう	ソフト
	NPO法人セカンドライフ ステージスタッフ		
26	うきは夢酔塾ユニフォーム・のぼり旗作成	「うきはん応援隊」として年間を通して行っているボランティア活動の際に、着用するユニフォーム及びのぼり旗の作成。ボランティア団体としての、会員の自覚を高める効果を狙うほか、会員拡大、他のボランティア団体の活性化を期待するもの。	ソフト
	うきは夢酔塾		
26	自然と音楽とアートフェス「きいろの市」	うきはの自然をテーマにアート、音楽等を楽しむイベントを開催し、市内外交流の推進、地域活性化を図るもの。また、一般の方にも楽しみながらアートに触れていただくきっかけを提供することで、文化を育てることに興味をもってもらうことを期待するもの。	ソフト
	笑う門プロジェクト		
26	うきは百姓組バスツアー	デザイナー、写真家、料理家、建築家などの他業種の専門家を、うきは市に招き、新たな取り組みのきっかけ作りや、もともと参加者が持つ情報発信力で「うきは市・百姓組」をPRしてもらうことを目的としてバスツアーを開催するもの。	ソフト
	うきは百姓組		
26	「うきは菜の花まつり」及びステージ備品整備事業	三春地区の菜種栽培農家により地元産菜種油の認知と販売促進、地域の活性化を目的として「うきは菜の花まつり」を開催するもの。および、ステージ備品を整備するもの。	ソフト
	うきは菜の花まつり実行委員会		
27	サルビアロード整備のための水道設備整備事業	県道沿いにサルビアプランターを設置し、環境の保全美化を行っているが水をやる時の安全確保が課題である。地区内の2カ所に水道設備を設置し、安全に水やりが可能な環境を整えることで、サルビアロードの発展及び地域の活性化に寄与するもの。	ハード
	東屋形区		
27	流川桜会スタッフジャンパー・管理学習事業	現在流川の桜並木は、うきは市の観光名所にもなっていて、毎年多くの観光客が訪れている。今事業では、名称の入ったジャンパーを購入し、観光客とコミュニケーションを図っていく。また、選定・消毒等の管理方法を学習し、27年経過し大きく成長した桜の木をきちんと管理していくことで観光客増に繋げていくもの。	ソフト
	流川桜会		
28	砂糖きびによる地域づくり事業	千年砂糖きび会は、平成15年から活動を行っている。事業内容としては、遊休農地を活用しサトウキビを栽培し町おこし、各種イベントへの参加、子どもの体験学習、地産地消、会員の親睦交流等の活動を通じて地域の発展に貢献している。千年小学校では4年生が、実際にサトウキビの収穫体験等を行い、運動会の旗取りの棒としてもサトウキビを提供している。この事業を活用し、老朽化した設備を更新し活動を継続していくことで、今後も様々な形で地域振興や町おこしに繋げていくもの。	ソフト
	千年砂糖きび会		
28	ハンギングバスケット設置事業	ハンギングバスケット設置協議会は、吉井町内各商店街を中心にハンギングバスケットを設置することで、街に潤いと憩いの場を創出することを目的とし平成15年から活動を続けている。 事業内容としては、吉井町内商店街を中心にボランティアの協力を得ながら、210号線沿いや白壁通り140ヶ所にハンギンバスケットを設置し、年2回花をの植え替えを行い、年間を通して継続的に美しい町並みを維持していくもの。	ソフト
	ハンギングバスケット設置協議会		
28	湯の花よかよか会ポロシャツ作成、スポーツジャケット作成	湯の花よかよか会は介護保険予防事業（げんき塾）のボランティアグループで、高齢者を対象に集落などを周り健康体操や健康チェックを行っています。しかし、湯の花よかよか会にはユニホームはなく、統一したジャケット等を作成することでボランティア時のコミュニケーションの向上、会員の意識向上、会員拡大につなげてく。	ソフト
	湯の花よかよか会		
28	よさこいのぼり旗、ワイヤレスアンプ購入事業	いちご会は、平成15年に発足し、よさこいをとおして市内外のイベントや施設訪問等において、うきは市をアピールし地域を盛り上げるため活動を続けてきた。下は3歳から上は75歳という4世代に渡って活動している。今回、よさこいののぼり旗及びワイヤレスアンプを購入することで、「元気」・「喜び」・「感動」を今まで以上にお届けすることが出来今後もうきは市の活性化に繋げていく。	ソフト
	いちご会		
28	よさこい踊り楽曲作成と太鼓及びTシャツの購入事業	よさこい踊りチーム「うきうきっず」は結成8年がたち、うきは市のホストチームとしてうきは市内外のイベント等に出演しPR活動を行ってきた。今回、楽曲とそれに関わるパーランクー（手持ち太鼓）と締め太鼓、Tシャツを新しく整備することで、より幅広く人に感動を与えられる踊りを表現し、またTシャツ・楽曲の中にもうきはらしさを取り入れ、オリジナリティあふれる演舞を披露することで、音楽だけでなく視覚からもより一層うきは市をアピールすることを目的とする。	ソフト
	うきうきっず		
28	空き家古民家活用における移住及び事業推進事業	うきは市内にある空き家・古民家を再生し活用することで、この土地に魅力を感じる事業者、アーティスト、作家、芸術家の受け入れ場所とする。それによって、うきはの古民家を持つ文化的な面とそこで行う事業との両輪で、地域の方々との共生と地域の活性化を目指す。それによって古民家の文化的価値や周辺環境を高めることを狙う。	ハード
	福岡県中央古民家再生協会 うきは		
29	空き施設活用型都市間交流・地域活性化事業	廃園となった妹川保育所跡地を、観光レストラン（創業時にはケータリング方式を採用）及び都市住民向けの交流施設として改修し活用していく。地元農産物や弁当等の加工品の販売を行い、地域活性化を図る。隣接する農地を貸し出し、地元住民が利用者へ農作業指導や日頃の手入れ代行を行い、都市住民との交流の機会を創出する。また、合瀬耳納トンネル開通に伴いサイクリストの増加も見込まれることから、その休憩所・拠点として利用してもらう。	ハード
	巨瀬の里振興会		
29	うきはん魅力フェスティバル	（公社）日本青年会議所九州地区福岡ブロック協議会主催の第45回福岡ブロック大会の開催日に合わせて、うきは市の魅力を参加者などに広くアピールし、観光振興に寄与する目的で「うきはん魅力フェスティバル」を開催。ブロック大会の会場前で物産市や飲食ブースを開設するとともに、ステージイベントでは、来場者にうきは市の文化に触れていただく場とする。	ソフト
	うきはん魅力まちづくりグループ		

ふるさと創生事業個性あるまちづくり事業実績

年度	事業名	事業内容	区分
	申請団体名		
29	木育ひろば設置事業	うきは木育クラブは、木に親しみをもつ人を増やし、林業・製材業・木材加工業の活性化を促すとともに市民の健康増進をはかることを目的として活動している。 事業内容としては、サンビットバリューの空きテナントに、幼児が木のおもちゃで遊べるひろばを設置する。うきはの森林・林業・木材産業の紹介をする場としても活用し、整備した木のおもちゃは有償で貸出可能とする。	ソフト
	うきは木育クラブ		
29	夏目漱石吉井町足跡記念句碑建立	夏目漱石が昭和31年正月に吉井町に宿泊し俳句を詠んだ史実を後世に伝え、歴史あるまちづくりを行うことを目的に、吉井町で詠んだ俳句の記念碑を設置。記念碑と併せて漱石関連句碑を吉井小学校前の遊歩道内に設置。併せて、句碑の建立をきっかけに俳句大会を初めて開催、年1回開催し市の俳句文化の発展につなげていく。新たに建立した句碑に、市内各所に点在する句碑をまとめたリーフレットを作成し、観光客の増加につなげていく。	ソフト&ハード
	やまтаро句会		
29	身延のしだれ桜と福富法華原を守る事業	うきは市吉井町福永にある樹齢70年を超える3本のしだれ桜がある法華原周辺を整備。しだれ桜周辺の整備や四季を通じて花をつける花卉・樹木の植樹、特産品の販売や手入れのための道具を収納する建物の設置。うきは市の観光地として年間を通じて多くの観光客を招致する。	ハード
	身延のしだれ桜と福富法華原を守る会		
30	空き家を活用した地域活性化の拠点整備事業	うきは市浮羽町御幸地区内の空き家となっている古民家を改装し、異なる業種や年齢の人々が集い、各々仕事をしたりする場所、コワーキングスペースとして活用する。また地域住民とも交流できる場としてコワーキングスペース利用客以外でも利用できるカフェ・バースペースを併設するよう改装した。	ハード
	うきはの空き家活用を考える会		
30	クラブ地域交流館『きらめき』創設事業	うきは市内で活動するラグビー関係者や少年少女ラグー、社会人ラグーを統括し交流の場とすることを目的に、うきは市内の空き施設（病院跡）を借り上げ改装し拠点整備を行った。具体的にはラグビー関係者の活動拠点、合宿等宿泊施設整備、ラグビーを通じた地域との交流施設として改装した。	ハード
	NPO法人 浮羽ヤングラガーズ 代表 姫野大助		
30	うきは市を中心とした耳納エリアブランディング拠点「耳納エリアショップ」開設事業（耳納HUB構想）	NPO法人うきはのあんは、耳納エリアの中心地に位置する場所でエリアショップとテイクアウトショップを整備した。テイクアウトショップはうきは産の食材をふんだんに使用することをコンセプトに、3月3日にプレオープン、3月5日に正式オープンした。セレクトショップは、うきはの商品を中心とした耳納エリアの良品を扱う予定。商品および事業者との調整が済み次第、正式にオープンする予定。	ハード
	NPO法人 うきはのあん 代表理事 太田 唯己		
30	耳納新聞：うきはの魅力と文化を伝える地域目メディア創出事業	うきは市の観光地図・イベント情報面とうきは市在住の人々のコラム面からなる地域メディア「耳納新聞」を発行し、市の魅力と文化の発信と醸成を図る。事業で作製した枠組みを利用し、事業終了後も2ヶ月に1回1000部程度の継続的な発行を目指す。	ソフト
	耳納新聞を作る会		
30	いそのさわ敷地内母屋再生事業	うきは古民家テラスは、市内の古民家や空き店舗を活用し交流人口の増加を目指す地域団体である。系年劣化で雨漏りも見受けられる現在使用されていないいそのさわ敷地内母屋をワークショップを行い再生した。ワークショップを行うことで文化の伝承に寄与し、再生した母屋は今後商品を販売するスペースやギャラリーなどとし開放する予定。	ハード
	うきは古民家テラス		
30	高齢者の生きがいの場創り事業	NPO法人心和会は、障がい者等が地域の中で自立して生活を営んでいけるよう福祉の増進を図り、社会全体の利益の増進に寄与することを目的としている。この事業では高齢者の生きがいの場創りとして、会員が所有している山北の秋物件を10年間無償で借用し、寄り合える場所へ改装。この取り組みが山春校区全体、さらにはうきは市全体に波及するような活動へしていく。	ハード
	NPO法人 心和会		
30	集落景観形成事業	小塩中崎区の集落内の耕作放棄された農地等へ桜や紅葉の木を植栽し、又暗闇の集落に癒しの小さな灯火を灯すことにより集落内の景観形成を図った。	ソフト
	小塩中崎里山づくり塾		
30	御幸通り「きずなクラブ」事業	御幸通り「きずなクラブ」は御幸通区の生活支援サービス組織であり、地域住民が住み慣れた地域で安心した暮らしを続けるため「ちょっとした困りごと」住民同士の共助を促す仕組みを作る。困りごとを解決するための草刈機、バリカン等を購入しその機材を保管する場所として空き倉庫を改修した。	ソフト&ハード
	御幸通り「きずなクラブ」		
30	筑後川温泉パークゴルフ場改修整備事業	西高見の会は、ボランティア活動を通して町づくりに貢献し、住みよい地域を目指すことを目的としている地域団体で平成19年度から筑後川放水路でパークゴルフ場を運営している。そのパークゴルフ場が平成29年7月の九州北部豪雨で被災し、平成30年7月も豪雨により被害を受けた。うきは市民だけでなく市外からも多くのお客がパークゴルフ場を利用し、筑後川温泉にもその来客の効果がある。そのため今後の運営のためにも災害に強い仕様とするよう計画し、改良整備を行った。	ハード
	西高見の会		
R1	年寄りには日本の宝、年寄りと若者を繋ぐサービス「わかもん」	「わかもん」は、「お年寄りには生きがいを、若者にはやりがい働きがいを」をコンセプトに元気なお年寄りには地域に新たな活躍の場・働く場の創出を、若者にはやりがいのある雇用の創出を目指しており、スタート時の設備として車を1台購入した。今後はお年寄りの方がサービスを受ける側ではなく、主役となり「わかもん」つまり若者と一緒に社会に社会に貢献、地域に貢献していける仕組み作りを行っていく。	ソフト
	わかもん		
R1	「歌」と「踊り」で地域コミュニティの活性と情報発信を目的としたCDとDVDの制作	「白壁レディース21」は、うきはの名所と魅力を歌と健康ダンスで表現し、うきは市内外に広めるためCD及びDVDを300枚製作し、全行政区と自治協議会へ配布した。自治協議会や行政区から健康ダンスの踊り方への指導希望があり、白壁レディース21の会員が指導へ行った。またYouTubeにも歌とダンスをアップし地域への愛着と人情味を折り込んだ歌と画像で、観光や移住を考えている人たちにうきはの魅力を伝えた。	ソフト
	白壁レディース21		
R1	一の瀬焼協同組合法被製作	市の観光資源の1つである一の瀬焼だが、今までは旧浮羽町時代に制作した法被を着てイベントに参加しており古い法被のため汚れが目立ったりと法被の数も減っていたため、一の瀬焼協同組合の法被を60着制作した。新たな法被には「福岡県うきは市」という文言が入り、市の鳥であるカワセミやうきは市の特色や個性を表したデザインにした。法被を着用し、市外の新聞社やテレビ・ラジオ局に宣伝に行き、うきは市を知らない人にも市全体のPRを行った。	ソフト
	一の瀬地域活性推進協議会		
R1	エリソン・鬼塚氏を後世に語り継ぐ事業	エリソン・鬼塚氏を後世に語り継ぐ事業では、エリソン・鬼塚氏の偉業を後世に伝えるとともに、うきは市の観光振興とつなげることを目的としており、ハワイ等からの視察受入時に使うプロジェクターやアンプ、エリソン橋の清掃活動時使用する発電機などを購入した。今後は観光振興のため同じくハワイ州と縁のある八女市上陽町とも連携してイベントも計画していく。	ソフト
	エリソン・鬼塚氏を後世に語り継ぐ実行委員会		
R1	民間遊休工場施設を活用した市民参画型「場」の創出事業	うきは市吉井町にある民間遊休工場施設を市民の力や九州大学の力でワークショップを期間中に合計7回行い新たな価値を持つ「場」として再生し、九州大学で使用されていた机や椅子などの什器を置き小規模なイベントもできるような場所にした。	ソフト
	うきはモノと文化の実験場The UKIHA Workshop		

ふるさと創生事業個性あるまちづくり事業実績

年度	事業名	事業内容	区分
	申請団体名		
2	千年小学校4年生児童による舟下り体験を推進するための木造船建造事業	五庄屋の精神に学ぶ会事業の一環である「舟下り」を千年小学校4年生の総合的な学習の時間で平成16年度から毎年実施している。会が舟下り用の木造船の維持管理に努めてきたが老朽化・水漏れがひどくなり事業の維持が難しくなり船の新たな製作とスタッフジャンパーの作り直しをした。	ソフト
	五庄屋の精神に学ぶ会		
2	地域に根ざしたウェブメディア「耳納山麓の人と暮らし」	地域に根ざしたローカルウェブメディア「耳納山麓の人と暮らし」を設立し、耳納山麓周辺地域の食や農・文化など日常についての情報を収集しメディア＝インターネット上で発信する。メディアで発信することで、全国あるいは世界にこの地域の魅力を明らかにし観光や移住者のきっかけ作りをする。また将来的には製作委員会のメンバー以外の生産者や商店主など様々な人々に記事を執筆いただき、記事の魅力によって各個人のホームページなどと連動しオンラインショッピングの購買への入口とし地域経済の発展につなげていくもの。	ソフト
	webメディア「耳納山麓の人と暮らし」製作委員会		
2	発達支援 野の花教室の拡張事業	特別な支援が必要な子どもたちの学習の場として、現在小学生の児童8名が放課後に通う教室を個人宅の和室で開いている。現在利用している和室を床張りに替え、面積も拡張することで今までできていない運動や認知作業トレーニングを行うことができるようになり、受入定員も増やすことができるようになるため改築した。	ハード
	発達支援 野の花教室		
2	うきは実証館高校魅力化プロジェクト事業	うきは市内唯一の高校であるうきは実証館高校での「課題探究」の授業の中で、高校生が地域や社会との接点を深め、うきはの将来の産業・観光を担う人材に育てるため地域の大人や専門家に外部講師として教えていただく機会を創出するもの。またそこで学習したものの発表や広報の場として、ホームページや広報誌を作製し、地域の魅力をたくさんの人に発信していきたいと計画していたが、コロナ禍で事業できず。	ソフト
	うきは実証館高校魅力化プロジェクト		
3	FARM STAY御幸通～古民家農泊シェアハウス～	空き家古民家を活用し、農泊体験及び宿泊機能を合わせた多機能施設を整備する。うきは市の強みである都市圏からのアクセス性の高さや豊富な食・観光資源と働き方改革の一環としてテレワークとを組み合わせることで、滞在人口の増加につながるモデルに発展させていくもの。旧安河内邸、旧佐々木邸の両施設の外装工事、改修工事、開業準備等を行う。	ハード
	うきは福富古民家まちづくり協議会		
4	GOSPEL LIVE in UKIHA	令和5年2月25日白壁ホールにて開催。うきはで活動するゴスペルグループ「SOUL LINK」と、国内外で活躍するゴスペルグループ「THE SOULMATIC」の合同ステージを実施。また一般参加者20名を募り一緒にステージで歌ってもらう企画を行った。 出演者はコロナ検査を実施、陰性確認後、マスクを外して出演、観客はマスクを着用。観客は約300名であった。「SOUL LINK」のインスタ等でうきはのおすすめ等を紹介することで、実際にライブ前後でおすすめを見て食事に行かれた方やうきはの街を巡った後にライブに来られた方など、地域活性の貢献にも繋げることができた。	ソフト
	GOSPEL LIVE in UKIHA実行委員会		
4	うきは実証館高校魅力化プロジェクト	株式会社LeRIROに委託し、福岡県内のラグビーをはじめとする中学生クラブチームに所属する中学生や保護者と交流することで浮羽実証館高校の魅力を広報した。また、浮羽実証館高校で開催される体験入学や各種イベントについても告知をすることで参加者が多数集まり、実際に学校の雰囲気や施設の充実をアピールでき、魅力を感じてもらうことができた。 今回のクラブチーム訪問及び各種イベントの結果、18名のラグビー経験者の入学が決まり、過去最高のラグビー経験者の獲得ができたとともに新一年生の入学者数にも貢献した。	ソフト
	うきは実証館高校魅力化プロジェクト		
5	砂糖きびによる地域づくり（設備新規）事業	千年砂糖きびの会は以前より遊休農地を活用し、砂糖きびを栽培、町のイベント参加や小学生への体験学習等を行ってきた。今回設備新設により、環境に優しい砂糖きびを無農薬有機肥料で栽培することができる。また砂糖きび栽培を県内で行っているところは数少なく、手作りの黒砂糖・黒蜜は希少価値があり、町おこしの起爆剤として期待できる。	ソフト
	千年砂糖きびの会		
5	「LIFE&SDGs in うきは」豊かなこころを育む集い	うきは市の若者や子ども達へ向けて、SDGsを通した命の尊さ、生きることの大切さを学ぶDVD上映、講演会を開催するもの。また、うきはの自然環境と農業と食料の大切さを知ることができ、より良い環境で豊かな心を育むことを目的とする。	ソフト
	白壁レディース21		
5	お祭り横丁	市の歴史遺産である円形劇場にて、100年前の祭りをコンセプトに地元飲食店の出店や盆踊り、演奏を行うお祭りを開催するもの。コロナ禍で疎遠になった人々の距離を縮めることを目的とし、市民によるお祭りを開催することで市の魅力を市内外にアピールする。また、出店された地元飲食店の経済効果や、子ども向けの昔遊びを通じて子ども達の新たな体験や発見を見出すことができる。	ソフト
	お祭り横丁実行委員会		
6	うきは市を玄関口とした耳納連山縦走路整備計画	耳納連山登山縦走路のwebページ等の作成を行うもの。耳納連山どーらいごは2023年1月より活動を始め、既存の登山道の草刈り、登山道周辺のゴミ拾い、登山地図と照らし合わせ、朽ちたコーステープの取付直し等を行っている。今回webページの新設により、整備した登山道縦走路のPRを行うことで、新たな観光客の集客に取り組むもの。	ソフト
	耳納連山どーらいご		
6	新しいコミュニティスペース地域活性化事業	過疎化が進んでいる田箆地区注連原集落の維持・発展のため、注連原地区の歴史や伝統・文化を紹介する冊子・HPの作成を行った。これをもとに、市内外に向けた注連原地区のPRを行っている。	ソフト
	注連原村づくり会		